

データで作り出す アバターの世界。



映画『アバター』の世界に命を吹き込むには、大量のストレージスペースが必要です。Lightstorm Entertainment は、貴重なデータを管理、アーカイブ、転送するにあたってデル・テクノロジーズと提携しました。PowerScale、PowerEdge、ECSといったサーバーソリューションによって、驚きに満ちたパンドラの世界が安全に維持され、保護されています。

『アバター：ウェイ・オブ・ウォーター』の舞台裏



7億5,000万を超えるリアルタイムの
ファイルメタデータとデータベース



第1作の『アバター』の10倍を超える
データが必要



世界8か所のサイト



最大26台のリファレンスカメラを使用



毎秒48フレームでの撮影

「Dellとの関係は、当社で行っている作業を改善したいという思いから始まりました。私たちは、データがいかに重要であるか、そしてそのデータを保存、共有、バックアップすることがいかに重要であるかをわかっており、優秀で自社にとって最適なパートナー企業を探していました。その条件を十分に満たしていたのがDellでした。」

Jon Landau 氏

『アバター』、『アバター：ウェイ・オブ・ウォーター』のプロデューサー



継続的なパートナー関係

『アバター：ウェイ・オブ・ウォーター』と、その前作の1作目は、いずれも映画の歴史において最も成功を収めた作品となっています。Lightstormは今後の映画製作でもデル・テクノロジーズとの提携を継続し、増加し続けるデータの管理とアーカイブに対応する予定です。

「Dellに最も感謝しているのは、提供してくれるその専門知識です。単にテクノロジーに関する知識や、技術的に高度な知識であるというだけでなく、さまざまなソリューションを1つにまとめるためのテクノロジーに関する知識を提供してくれます。」

Tim Bicio 氏

LIGHTSTORM ENTERTAINMENT、CTO



Lightstorm Entertainment がどのようにパンドラを作り上げているかをご覧ください。

Lightstorm がどのようにアバターに命を吹き込んでいるのか、詳細をご確認ください。

